

濱本 真輔

法学研究科・准教授

[研究]

①基盤研究(A)「グローバル時代のエリートと対抗エリートの平等観と政策ネットワークの変容」に関して、共編者として『現代日本のエリートの平等観』を明石書店から刊行した。

②基盤研究(A)「機会と結果の政治的不平等に関する総合的実証研究」では、ウェブ調査を実施し、有権者の代表観を分析した。

③基盤研究(B)「日本の保守政党における政務調査会の政治学的・歴史学的研究:明治から平成まで」では、戦後の保守政党の活動を把握するために、『衆議院公報』を収集し、1945年から2020年までのデータベースを構築し、次年度の学会報告の準備を進めた。

④基盤研究(B)「政治制度改革後の日本政治についての理論的・実証的な再検討」、基盤研究(B)「小選挙区比例代表並立制が政党・議員・有権者に与えた影響に関する実証的研究」では、リクルートメント研究、政治資金研究のレビューを進めた。

以上の成果の一つとして、『日本の国会議員:政治改革後の限界と可能性』を執筆し、中央公論新社に入稿した。

日本公共政策学会、「日本政治外交史ネットワーク」、「東京大学東アジア藝文書院(EAA)」が主催する分科会、研究会で討論者を務めた。

[教育]

①法学部の「政治学原論」(4単位)、「演習1a,1b,2a,2b」(各2単位)、全学共通教育の「学問への扉」(2単位)を担当した。

②法学研究科の「政治学概論」(2単位)、「政治学・政治学特殊講義」(2単位)を担当した。政治学特殊講義では議会、政党、選挙をめぐる研究動向について、受講者の理解を深めた。また、両科目において、受講者にペーパーの執筆を義務付け、添削指導した。

③院生を対象とした研究報告会で進捗報告を受けつつ、研究指導をおこなった。

[管理運営]

全学委員会の委員として、入試広報小委員会委員を務めた。

部局内委員として、法学部教務委員を務めた。

[社会貢献]

日本比較政治学会の編集委員を務め、学会誌『比較政治学会年報』の刊行に関与した。

日本公共政策学会の学会賞選考小委員会委員を務めた。